

戦死証明書

戦死者本籍地

戸主名 戸主

氏名 年 月 日生

所属 陸軍 歩兵 第... 連隊

戦死者従軍年次 昭和... 年... 月... 日

戦死者年月日時刻及場所 昭和... 年... 月... 日

戦死者現況ノ程度 確認

遺骨歸還ノ有無 無

戦死當時ノ状況 概要

昭和... 年... 月... 日... 戦死

死亡原因 戦死

その他 戦死

遺族ノ現住所

戦死者ノ遺族 妻

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和... 年... 月... 日

證明書

所属部隊名

氏名

市町村長印

戦死者ノ遺族

180-10

第 〇 〇 〇

陸海邦 死亡現認證明書

資 料 提 供 者		死 亡 者													
死 亡 知 照 法		遺 留 品 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	元 元 (死亡事由)	諸 諸 (死亡場所)	亡 亡 (死亡日時)	死 死 (死亡区分)	発 発 (発病場所)	発 発 (発病時期)	区 区 (区分)	本 本 (本籍地)	開 開 (開戦時の住所)	所 所 (所属)	部 部 (部隊又は職)	域 域 (域名)
目 録 報 告 による				死 死 (傷病名)	此 此 (死亡場所)	昭 昭 (死亡日時)	戦 戦 (死亡区分)			内 内 (区分)				通 通 (通称)	有 有 (有)
死 亡 者 と の 関 係															
同 部 隊															
所 所 (所属)	所 所 (所屬)														
部 部 (部隊)	部 部 (部隊)														
職 職 (職名)	職 職 (職名)														
死 死 (死亡)	死 死 (死亡)														
種 種 (種別)	種 種 (種別)														
名 名 (姓名)	名 名 (姓名)														
年 年 (年)	年 年 (年)														
月 月 (月)	月 月 (月)														
日 日 (日)	日 日 (日)														
生 生 (生)	生 生 (生)														
女 女 (性別)	女 女 (性別)														
死 亡 当 時 の 状 況 及 び 参 考 資 料		<p>天 天 (天)</p> <p>線 線 (線)</p> <p>交 交 (交)</p> <p>一 一 (一)</p> <p>五 五 (五)</p> <p>一 一 (一)</p> <p>レ 〇 (レ)</p>													

事實証明書

所属 國有 通欄号

第六航空地区指令部

本籍

徴集年次 種別 兵種 死亡前階級 氏名 生年月日

昭和十八年

満役 衛生兵

陸軍衛生 加見習 士官

年月日

留守擔当者住所

[Redacted]

續柄 父 氏名

[Redacted]

年月日 時分

昭和廿二年三月二十九日 午前九時三十分頃

事由

同上能行場三米軍機甲部 隊ニ應戦中戦車砲彈ニ

死亡場所

比島川ノネクハ区島野町ノ北ノ川ノ河口ニ能行場

傷病名

爆死 爆傷

区分

五戦 一死

遺留品

ナシ

死亡承知の理由

同日ノ刻本人 [Redacted] 証人復舊 [Redacted] 終結

証人復舊

昭和廿二年八月二十日比島川ノネクハ区島野町ノ北ノ川ノ河口ニ能行場三米軍機甲部 隊ニ應戦中戦車砲彈ニ

右證明す

昭和廿二年五月一日

現住所

[Redacted]

所属部隊 第三工兵能行隊 官等級 陸軍中尉

氏名

[Redacted]

記載事項注意	遺囑・位所	遺論	現認事由	亡			死	
				死亡原因	死亡日期	埋葬地	埋葬姓名	埋葬地
			証明年月日		昭和三十九年二月二十日			
		所屬部隊名	戦死	比洋省				
		遺言・級氏名	陸軍伍長					

本件死者は昭和三十九年二月二十日、比洋省において戦死した。遺言は「陸軍伍長」とある。遺論には「戦死」とあり、現認事由には「戦死」と記載されている。埋葬地は不明である。埋葬姓名は「陸軍伍長」とある。

96-10

死亡事實(現認)證明書

本籍地

現住所

所屬部隊 第五二教育隊

徵集年 昭和十六年

官等 姓名

右ノ者 昭和二十年三月二十日 時

分ネグロ島 於云取 被安泊 三依リ 戦傷

遺失シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和二十一年 三月二十六日

所屬部隊 職名

第五二教育隊 隊員 陸軍 伍長

氏名

注 一、死亡地點、受傷部位、病名等明シアルモノハ詳記ス
二、遺物、遺言、小隊長、隊員、捕獲等ヲ詳記ス

(封入)

23-12

<p>所属部隊 通橋班</p>	<p>例 皇軍第一師團 中支隊第一三三隊</p>	<p>先鋒隊</p>	<p>昭和二十二年七月十九日 北七區 戦死</p>	<p>兵種 官軍 北七區 戦死</p>	<p>氏名 遺族本籍地及現住所</p>	<p>遺言 有無</p>
<p>例 昭和二十二年七月十九日 北七區 戦死</p>	<p>北七區 戦死</p>	<p>兵種 官軍 北七區 戦死</p>	<p>氏名 遺族本籍地及現住所</p>	<p>遺言 有無</p>		
<p>例 昭和二十二年七月十九日 北七區 戦死</p>	<p>北七區 戦死</p>	<p>兵種 官軍 北七區 戦死</p>	<p>氏名 遺族本籍地及現住所</p>	<p>遺言 有無</p>		

○補給部 記帳手 下等 高確 認 資 糧 糧 出 米 得 詳 細 記 入 下 下 一
 病 死 場 所 及 病 年 月 日 病 名 入 院 場 所 月 日 病 死 場 所 下 下 一

現 在 住 所 所 屬 部 隊 姓 名 年 令 職 務 等 級 氏 名
 同 現 住 所 所 屬 部 隊 姓 名 年 令 職 務 等 級 氏 名

昭和二十二年 五月 二十九日

本指地

現認發財書

所居部隊

官內名陸軍 死亡後

一役種兵種 年次 浦元兵役

一死亡年 月日時 昭和三年三月二十日

一死亡場所 山口市毛口部隊二丁

一死亡原因 斃死

一遺族現住所 福岡市

一遺族姓名 有田

一遺族現住所 福岡市

一遺族姓名 有田

昭和 年

現認者 所屬部隊

官內名

陸軍 任長

Handwritten notes at the top right of the page.

死亡者別名	死亡年月日時分	死亡場所	死亡原因	備考
田中 幸三郎	昭和十九年三月二日
...
...

昭和十九年三月二日
 田中 幸三郎
 死亡者別名
 死亡年月日時分
 死亡場所
 死亡原因
 備考



姓	名	現	職	明	考
死亡者姓名	尚首名	第...所因步兵第六口狀	旭
年役陣兵種	敵集年
官	死亡地
氏名	戰死
死亡年月日時間	昭和...年...月...日
死亡病名
死亡者居住地
...
...
...
...
...

右大腿部貫通砲彈破片創

昭和...年...月...日

元... 元... 元... 衛主任長

42-10

死亡現認書		昭和二十一年三月五日	
死者	本籍地	[REDACTED]	
	現住所	本籍ニ在リ	
	所属部隊名	陸軍歩兵第七十二大隊(奉隊)	
	官等職氏名	陸軍兵長	[REDACTED]
	死亡年月日時	昭和二十年三月三十日	(推定之)
	死亡場所	本アロス島ハコ野東方	(推定申)
	死亡區分	戦死	死亡事由 傷病名 (發病年月日)
状態 遺留品の	ナシ		

右現認す

現認者 本籍地 [REDACTED]

現住所 本籍ニ在リ

死没者との関係

戦友

所属部隊

陸軍歩兵第七十二大隊(奉隊)

元職官氏名印

陸軍兵長 [REDACTED]

記載上の注意

1. 推定は甲(推定)、乙(推定確實)、丙(疑はしきもの)の區分で記入する
2. 死亡事由欄には何れもは通院創、或は「マリア」等の病名を記入する
3. 死没者との關係は中、小隊長、分隊長、戦友等記入する

死亡證明書

要

項

籍

記

載

事

由

死亡者の本籍 曾年担当

者之位所 続柄 氏名

死亡者の所屬 職業 死亡

當時の官等 職名

(兵科は「カ」を附けられた)

死亡年月日時

(死因が確實でないときはその旨を附記すること)

死亡場所 (死因の詳細は)

死因の原因

死亡の場合は何れによるか
死を及ぼした原因

死亡場所 (死因の詳細は)

父

此書は正成(五九二)部隊

上等兵

昭和二十一年三月十日

大正山(五九二)部

署名

山中 武雄

12-10

死... 他人言

他人... 同部隊

遺書... 遺言

遺言

死... 任務

不行

死亡者... 同部隊

同部隊

若相違... 証明す

昭和三年三月六日

現任

先親屬部隊官等氏名

陸軍航空隊長

[Redacted]

本籍地

現認(事實)證明書

國府名 第三空教育飛行隊

通稱名 成五三五部隊

昭和十七年徵集

現役

飛行兵上等兵(昭和十九年九月十日)

死亡年月日

昭和二十年三月三十一日

死亡原因及傷病名

戦死

右大腿部直通銃創

死亡場所

北島本大野又島小呂下セ下ラレ

死亡状況

死亡者不親記者ト明係(分隊長)

本人ハ昭和十九年四月二十六日同中隊ヲテ死亡時ハ分隊長ヲ多ク

口死之前後ノ状況

昭和二十年三月三十一日敵ハ本島ニ上陸中隊ハ...

年月日生

9-2

遺失

遺失及遺留品

遺失有

右ノ通り相違ナク事ヲ證明ス
昭和三年二月十三日

昭和三年二月十三日

所屬部隊

威一五三五部隊(加三三三教育飛行隊)

現住所

官等氏名 分隊長陸軍兵長

現認証

本籍地

部隊名

官等氏名

第百四十九隊
守田一兵衛

時

死亡年月日

昭和二十年三月五日

死亡場所

南島ルソレ島ボツク附近

死亡区分

操縦機

死亡理由

空襲被弾

右現認証

本籍地

部隊名

官等氏名

第百四十九隊

守田一兵衛

時

13-11

現認書

本籍地

部隊名

官昇氏名

飛行第...隊

死亡年月日

死亡場所

死亡理由

死亡区分

昭和二十年二月

敵上陸交戦時

不明なる多分戦死の様子

若現認書

現認書

本籍地

部隊名

官昇氏名

飛行第...隊

右の者... 昭和二十年二月... 飛行第... 隊... 敵上陸交戦時... 不明なる多分戦死の様子

所原國名

所原國名 所原國名 所原國名

本籍地

留身現籍地

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

右の通り現認す

年月日

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

元七早旨

戦時死亡者現認證明書

所屬部隊 第12456 (通)	死亡年月日	死亡場所	死亡原因	遺留品	兵種	階級	氏名	本籍地
127乗場人(通)	昭和20.3.	ルソン島 クラフ西方山地	戦死	なし	兵	伍長	生年月日	留中者現住所 (親指) 兵
戦死	戦死	戦死	戦死	なし	兵	伍長	生年月日	留中者現住所 (親指) 兵
戦死	戦死	戦死	戦死	なし	兵	伍長	生年月日	留中者現住所 (親指) 兵
戦死	戦死	戦死	戦死	なし	兵	伍長	生年月日	留中者現住所 (親指) 兵
戦死	戦死	戦死	戦死	なし	兵	伍長	生年月日	留中者現住所 (親指) 兵
戦死	戦死	戦死	戦死	なし	兵	伍長	生年月日	留中者現住所 (親指) 兵
戦死	戦死	戦死	戦死	なし	兵	伍長	生年月日	留中者現住所 (親指) 兵
戦死	戦死	戦死	戦死	なし	兵	伍長	生年月日	留中者現住所 (親指) 兵
戦死	戦死	戦死	戦死	なし	兵	伍長	生年月日	留中者現住所 (親指) 兵

右現認す

昭和二十一年一月二二日

現住所

所屬部隊 九十九飛行場大隊

官等級氏名 佐野見智士中尉

上陸地名 依世保

上陸地支局に於て運給済や否や

上陸月日 昭和二十一年十一月二十一日

一、所屬部隊は通稱固有部隊名をも明記程度に記入のこと
 二、死亡種は出来る限り詳細に特に軍山、傷病名、發病(受傷)入院年月日、入院病院名及其の他参考資料併せ記入のこと、此等多き場合は閉鎖添付記入のこと
 三、遺骨(遺留品)種は有無有る場合は何處にありや(現地、上陸地支局、留守宅等)記入のこと
 四、証印を忘れぬこと
 五、同一人に對し二部調製のこと

歴	服	年	月	日	事
昭和二十一年	十一月	二十一日			上陸
昭和二十一年	十一月	二十一日			上陸
昭和二十一年	十一月	二十一日			上陸
昭和二十一年	十一月	二十一日			上陸
昭和二十一年	十一月	二十一日			上陸
昭和二十一年	十一月	二十一日			上陸
昭和二十一年	十一月	二十一日			上陸
昭和二十一年	十一月	二十一日			上陸
昭和二十一年	十一月	二十一日			上陸
昭和二十一年	十一月	二十一日			上陸



現認證明書

陸軍

本籍地

現住所

所屬 威一五三一部隊

姓名 陸軍中尉(死後)

昭和三年三月二十一日午後一時三十分

場所 比島ルソニ島マルニ

区令 戦死(胸部貫通銃創)

右證明す

昭和三年十二月二日

之新居 錦州 滿洲 昭和五年新隊

陸軍中尉



戦時死亡者現認證明書

所屬部隊 (記)		死 亡	
		年 月 日	
		場 所	
		分 区	
		番 山	
		(品留遺)作道	
		兵 役 派 兵 年	
		種 類 軍	
		前 亡 死 官 備 葬	
		今 日 年 月 日 葬 亡 葬	
氏 名		姓	
名		年 月 日	
不 籍 地		留 心 籍 當 者 現 住 所	
(籍 籍) 氏 名		名	
本 籍 地		因 由 所	
(大)			

右現認す

昭和二十一年七月二十一日

現住所

所屬部隊

第一六七四二前隊
官等姓氏名 陸軍上等兵
上陸地名 古為港
上陸地政局に於て連絡済や否や

上陸月日 昭和二十一年十月二十二日

- 一、上の記号
- 二、死因は山來得る及び詳細に特に事由 (傷、病、溺、窒息、入陸年月日入陸時の名及其の他參照資料併せ記入のこと。遺失多き場合は附屬地村記入のこと)
- 三、遺骨(遺留品)には有無なる場合は何處にありや(現場、上陸地支局、留守宅等記入のこと)
- 四、捺印をなすこと
- 五、同一人に對し二部開票のこと

歴 履		年 月 日	
昭	昭	昭	昭
昭	昭	昭	昭
昭	昭	昭	昭
昭	昭	昭	昭
昭	昭	昭	昭
昭	昭	昭	昭
昭	昭	昭	昭
昭	昭	昭	昭

(入陸以後の連絡照会)

東洋書目録

<p>東洋書目録</p>	<p>[Redacted]</p>
<p>[Redacted]</p>	<p>[Redacted]</p>
<p>[Redacted]</p>	<p>昭和十五年五月十日</p>
<p>[Redacted]</p>	<p>三ノ國工場の建設</p>
<p>[Redacted]</p>	<p>敵の追跡は、右路に 右岸に中隊を、 その後、右路に 右路の事情は、 射撃は、</p>
<p>[Redacted]</p>	<p>右路の追跡</p>
<p>[Redacted]</p>	<p>右路の追跡</p>
<p>[Redacted]</p>	<p>右路の追跡</p>
<p>[Redacted]</p>	<p>[Redacted]</p>
<p>[Redacted]</p>	<p>[Redacted]</p>
<p>[Redacted]</p>	<p>[Redacted]</p>

死亡事實(現認)證明書

本籍地

[Redacted]

現住所

右三司ロ

所屬部隊

威七二六部隊

徵集年

昭八

氏名

官等級 陸軍一等兵

[Redacted]

右ノ者昭和三十年三月 日 時

分ト生島ニ於テスルヤニ依リ戰傷

病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和二十五年十二月五日

所屬部隊

職名 威七二六部隊

官等級 陸軍一等兵

氏名

[Redacted]

- 注意
- 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シアルモノハ詳記ス
 - 一、職名ハ中、小隊長、砲手、操縦手等ト詳記ス

35-11

戦歿者確認(證明)書

一、死歿者所属部隊名(通稱) 陸軍第二十七師(現) 第百九十九連

一、死歿年 昭和十八年 役種 兵 兵種 歩兵

一、官制(死歿時) 一等兵 (死歿後)

一、氏名 [Redacted] 年 [Redacted] 月 [Redacted] 日生

一、死歿場所 シンガポールの海軍病院

一、死因(分) 傷 砲弾の破片による胸部の貫通傷

一、死歿年月日時 昭和十八年六月十日 午後七時

一、死歿者不精進留守増徴者

右確認(證明)ス

昭和十八年六月十一日 元所属部隊長 佐野一太郎(シ) 氏

現任所 [Redacted]

元官階級 一等兵

氏名印 [Redacted]

注 死に事由(場所)ハナルニシテ特ニ経歴後ノ死亡ハ明確ニ生死不明ニナラズバハソノ前後ヲ
ナラシメテ告知セザル

宛 先

[Redacted] 地方世話部慰恤係

戦歿者確認(證明)書

一、死歿者所属部隊名(通称) 成第七〇七部隊 (秋田大森地区)

二、戦没年 昭和十七年 一補 兵種 輜重兵

三、死歿地 (死歿地) 上野庄 (死歿後)

四、氏名 [Redacted] 日 生

一、死歿場所 [Redacted] 病院

二、死歿原因 [Redacted] 傷死

三、死歿年月日時 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和十七年八月廿四日

元所属部隊名 成第七〇七部隊

現住所 [Redacted]

元官等級 [Redacted]

註 死亡理由、場所、年齢、クソシクシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニオツク者ハソノ前後ヲ

クソシクシク知ラセテ下サイ

宛 先

電カ電話部被傳係

七話課

證明書

本籍地

戦死當時、所属部隊

特設第十九機關砲隊

陸軍中隊長

右、者昭和二十年三月下旬比律賓ミンダナオ島バタビ州デルモンテニ於テ敵機ト交戦中戦死セシトテ認ス
右證明ス

昭和二十二年三月十一日

本籍地

現住所 同上

特設第十八機關砲隊

陸軍中隊長

在米田 氏

固 有 通 稱		部 所	
隊		隊	
兵 種		任 職	
年 令		年 令	
級 等		官 等	
生 前		生 前	
名 ナカリフ)		氏 名	
日 月		年 生	
本 籍		地 留	
現 住		所 年	
年 月		日 場	
所 事		由	
死 亡		状 況	
遺 留		品 骨	
の 状 況		遺 留 品 骨	

右
催
録
す

昭和二十二年 7月 15日

第 1 師 團 第 1 旅 団 第 1 中 隊

戦 死 者 名 簿

死亡者名簿

氏 名 住 所



[Redacted area]

12507

現認(死亡)證明書

現認		現認		現認		現認		現認		現認		現認	
氏現	名住	氏現	名住	氏現	名住	氏現	名住	氏現	名住	氏現	名住	氏現	名住
昭和三十二年八月三十日		昭和三十二年八月三十日		昭和三十二年八月三十日		昭和三十二年八月三十日		昭和三十二年八月三十日		昭和三十二年八月三十日		昭和三十二年八月三十日	
元前属部隊官等級		元前属部隊官等級		元前属部隊官等級		元前属部隊官等級		元前属部隊官等級		元前属部隊官等級		元前属部隊官等級	
臨時歩兵第八大隊		臨時歩兵第八大隊		臨時歩兵第八大隊		臨時歩兵第八大隊		臨時歩兵第八大隊		臨時歩兵第八大隊		臨時歩兵第八大隊	
陸軍少尉		陸軍少尉		陸軍少尉		陸軍少尉		陸軍少尉		陸軍少尉		陸軍少尉	
氏現		氏現		氏現		氏現		氏現		氏現		氏現	
名住		名住		名住		名住		名住		名住		名住	
印新		印新		印新		印新		印新		印新		印新	
氏現		氏現		氏現		氏現		氏現		氏現		氏現	
名住		名住		名住		名住		名住		名住		名住	
印新		印新		印新		印新		印新		印新		印新	
氏現		氏現		氏現		氏現		氏現		氏現		氏現	
名住		名住		名住		名住		名住		名住		名住	
印新		印新		印新		印新		印新		印新		印新	

現認(死亡)證明書
 昭和三十二年八月三十日
 陸軍少尉
 臨時歩兵第八大隊
 陸軍少尉



昭和十九年一月北部隊十七部隊入隊

同年三月瑞洲村八四八部隊  隊編入


同年七月南方方面移動命令下り

同年八月フィリピンルソン島北サンライラ

ンドに上陸す其の後各地に轉戦せる者

20, 3, 10,
ルソン島北サンライラ

イムツラ村
戦死

註  君は小生と同郡にも有り又中隊員同トイ

いたのイ特に親しく居り来たが最後う
戦死すべく来たが遺体は見る事が出来ず是
んが才たが戦死された事は事実ならず戦

死時階級は上等兵であった
右証明致し奉す。